

# 機械知能工学プログラム

## Mechanical Engineering Program

### ■教育方針 Education

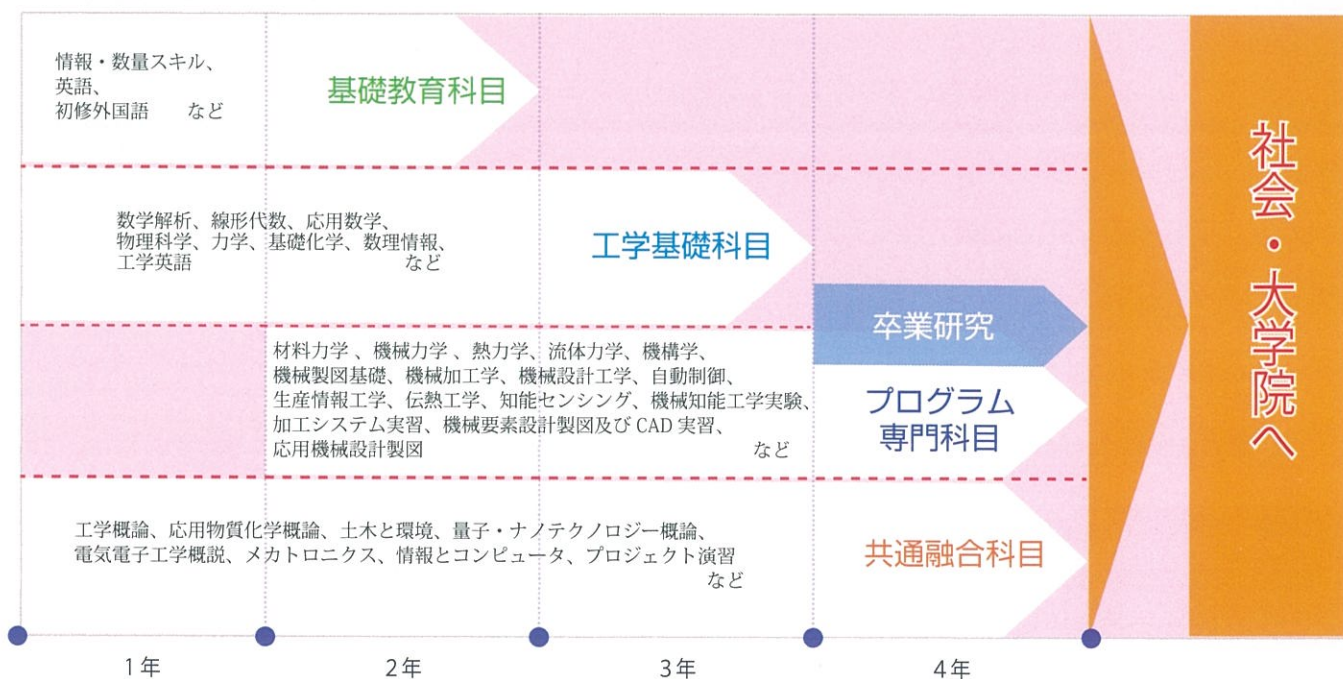
#### — 未来を支える機械工学 —

本プログラムでは、ものづくりの基盤となる機械工学の専門知識についてしっかりとした教育を行うとともに、情報数理などの他の工学分野にも理解を広げる教育を行います。さらに、地域の特徴を活かした「人と自然に優しいものづくり」や、地域社会に貢献する「超スマート社会の実現に向けたものづくり」に関連する研究を通して、高い創造力と実行力を持った専門技術者の育成を行います。

#### — 学習教育目標 PHOENIX —

- P**lan 社会の要求や制約に応えるため、自主的に計画して、それを継続的に実行できる能力
- H**armony 人と機械との共存や機械と自然との調和を考えるための能力
- O**bligation 社会秩序や自然環境保護に対する技術者の責務を考える能力
- E**ngineering 機械技術者としての工学・数理情報の基礎および専門知識
- N**ature 自然環境を維持するために、資源とエネルギーの有効利用を考える能力
- I**dea 自分のアイデアを実現できるデザイン能力およびそれを説明するコミュニケーション能力
- e**Xamination 得られた成果を吟味し、まとめる能力

#### — カリキュラムイメージ —



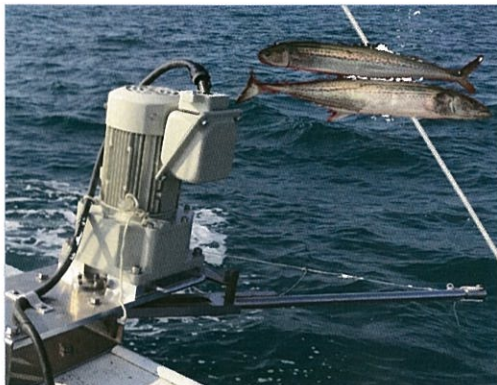
## ■アドミッションポリシー Admission policy

プログラムでは、機械と自然との調和や資源とエネルギーの有効利用を考える能力、社会秩序や環境保護に対する技術者の責務を考える能力、創造力と問題解決能力、アイデアを発想して実現できるデザイン能力、及びコミュニケーション能力を身に付けた人材の育成を目標としています。

### 求める人材像

- 1 「人と自然に優しいものづくり」や「超スマート社会の実現に向けたものづくり」に関連する技術の開発や研究に対して熱意を持って取り組む人
- 2 数学及び理科の基礎的な知識・理解を有する人
- 3 コミュニケーション能力を身に付ける上で必要となる語学能力と学問への関心を持つ人
- 4 学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる意欲溢れる人

## ■研究紹介 Research



漁師の負担軽減のためのフィッシングマシンの開発



AIとIoTを用いた豚の自動選別システムの開発



飼料タンク洗浄・遮熱塗装ロボットの開発試作



ビームダウン式太陽集光装置を用いた研究



マルチファン型風洞を用いた研究



姿勢安定走行を可能にする形状可変クローラロボットの研究

★これらの他にも様々な研究を行っています。詳細はホームページでご覧下さい。

国立大学法人 宮崎大学 工学部 工学科 機械知能工学プログラム

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1 TEL. 0985-58-2874 (工学部教務・学生支援係)

- 宮崎大学ホームページ
- 本プログラムホームページ

<http://www.miyazaki-u.ac.jp>

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/mech/>